

## 女はそれを待っている (1958)

BRINK OF LIFE [米]

NARA LIVET

SO CLOSE TO LIFE [英]

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 スウェーデン

色彩 B&amp;W

時間 88分

初公開日 1960/09/03

公開情報 大映

## 【解説】

出産という、女性にしか体験できぬ事象をめぐる、ベルイマンの運命論的スケッチ。偶然、同じ産院に入院した、年齢も立場も違う三人の女たちの心理の綾を、各自の葛藤を露にしていきながら、一枚布に縫いあげていく。その産着に包まれるのは他ならぬ彼女たちだ。ベルイマンにしては作為が目立つ物語だが、見事な演技アンサンブルを指導して（58年のカンヌで監督賞と集団演技賞を受けた）、簡潔さの中に深いものを育ませている。セシリア（チューリン）は夫と不仲で、まだ幼さの残るヨルディス（アンデション）は男に騙され妊娠したので、共に子供を産みたくないが、反対にスチーナ（ダールベック）は、子煩悩そうな夫と一緒に初めての子の誕生に胸を膨らませている。しかし、運命は皮肉なことに、スチーナは死産し、他の二人は生もうと決心がつく。緊張した芝居を繰り広げる女たちに囲まれ、ベルイマンは、金輪際こんな仕事は御免蒙りたいと述懐していたそうである。

## 【クレジット】

監督	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
製作	ギュスタ・ハンマルベック	Gosta Hammarback
原作	ウルラ・イザクソン	Ulla Isaksson
脚本	ウルラ・イザクソン	Ulla Isaksson
撮影	マックス・ウィレン	Max Wilen
音楽	エリック・ノードグレン	Eric Nordgren
出演	イングリッド・チューリン	Ingrid Thulin
	エヴァ・ダールベック	Eva Dahlbeck
	ビビ・アンデション	Bibi Andersson
	マックス・フォン・シドー	Max Von Sydow
	バルブロ・ヒオルト・アフ・オルネス	Barbro Hiort af Ornas
	グンナール・ビョルンストランド	Gunnar Bjornstrand